



時計台の鐘

第 76 号

特定非営利活動法人

さっぽろ時計台の会

会長 木原直彦

札幌市中央区北1条西2丁目

重要文化財・時計台内

TEL 011-251-5944

記憶が刻む文化財

木原直彦

もちろん指定されたものは文化財であるにちがいないけれど、人びとの記憶に色濃く残っているモノたちもまた文化財であろう。指定・無指定にかかわらず、大切な存在こそが遺産なのだ。

昨年の東日本大震災では呼吸が凍りつき心が頼れたが、ぼくにとって東北は親しい町々であるだけに、災害に遭遇した人たちが悲しみも苦しみも乗り越えて復興に立ち向かっている懸命な姿に感動を覚える。そうした中でのがかりの一つが、あの文化財たちはどうなっているのだろうか？であった。そんな時に目に入ったのが、かつて「下町ブーム」を巻き起こした森まゆみさんの『古い友たち』を捨てないで、副題には「被災地の文化財建造物救出のために」とある。結びのところには「長年ここに建ち、人々の想いが込められた建物は、さながら匂いや声や思いを持つ」し、その「古い友たちはこれから町の復興の核ともなり、観光の目玉にもなり、人々の集まり楽しむ場所にもなり、傷ついた心を慰めてもくれるだろう」と。

岩手県陸前高田市の人たちの「奇跡の一本松」に寄せる蘇生への取り組みは「祈り」でなくて何であるうか。絶望的とも言うが、心のシンボルとして、孫生が再生することを願わずにいられない。

昨年、琵琶湖に旅して近江商人の里に立ち寄った。重要伝統的建造物群保存地区である古い街（江戸時代）と新しい街（明治以降）とが整然と住み分けしていて、とても心が安らいだ。新しい街にもいくつかの文化財が大事に保存・活用されていて住民の愛着を感じたが、札幌のばあいは後者に当てはまる。しかし、こちらは近代都市として計画的に成立したという点においてちがう。そこにいろいろの特徴をみてとれるが、例えば、あまりに急速に発展したがゆえに、町歩きをしても「ここに何々があった」としか言いようがない。だから、われらが時計台などは奇跡的な存在だと言っていると思う。失われたモノがいかに多いことか。札幌本府だった都心に限ってみても、代表格の赤レンガや豊平館などをはじめ市が昭和六十三年に定めたる文化百選などとは、この北の大都市にとって掛替えのない遺産なのである。

最後に北海道新聞が仙台と札幌を比較した特集を組んでいたが、主な名所として仙台が青葉城跡なのに対し、札幌では時計台があげられている。なぜともなくニンマリと頷いたが、市民の記憶に染みとおっている時計台、良きかな。

(当会会長)

第30回

時計台まつり記念行事

式典に彩りを添えて
いただいた滑川市長

十月十六日恒例の時計台創建百三十三周年記念式典において、今年度は特別ご来賓として時計台にかかわるご縁の深い富山県滑川市の上田昌孝市長をお招きしご挨拶をいただきました。

滑川市は名曲「時計台の鐘」の作詞・作曲者である高階哲夫先生の生誕の地であります。そんなことから札幌市との交流が生まれましたが、実は滑川市の東福寺野自然公園には札幌市時計台の二分の一のミニチュアがあり、その中に高階先生にかかわる種々の記念品が展示されており、毎年生誕を祝う行事が催されていて、今年度で百十五周年を迎えるということです。



ご挨拶をする上田滑川市長

演奏会等

- ・六月二十八日(火) Love Voice ゴスペルコーラス
- ・七月二十九日(金) 札幌放送合唱団OB会合唱団 合唱の夕べ
- ・八月二十六日(金) オカリナ1.4ファミリー オカリナ演奏
- ・九月二十八日(水) 時計台のある街プロジェクト アコースティッククオンサート
- ・十月十日(月)×十六日(日) 児童絵画展・市民文芸作品コンクール優秀作品展示
- ・十月十五日(土) 裏千家淡交会による呈茶
- ・十月十六日(日) 時計台創建百三十三周年記念式典 児童絵画展・市民文芸作品コンクール優秀者表彰式



裏千家淡交会による呈茶



オカリナ演奏

Dipa String Quartet 弦楽四重奏



おすすめどう時計台の鐘百三十年記念式

ご存じのとおり札幌市時計台は一八七八年十月クラーク博士の構想により札幌農学校の演武場として建設されました。時計塔の鐘はそれより三年後の一八八一年八月十二日からその妙なる音を絶えることなく市民に伝えていきます。

昨年その記念の日に札幌市時計台の主催で記念式典が時計台ホールで開催されました。塔時計は、一九七〇年に建物とともに国の重要文化財に指定されましたが、二〇〇九年八月七日に当時のままに稼働している日本最古の塔時計として機械遺産第三十二号に認定されました。

北海道新聞の「卓上四季」に次のように紹介されました。

卓上四季

札幌の時計台が時を告げ始めて、きょうで百三十二年といっ。一八七八年(明治十一年)に札幌農学校演武場として建てられた当初、時計はなかった。開拓長官黒田清隆の意向で米国メーカーに機械時計を発注。八一年八月十二日から、鐘の音を響かせてきた▼軍に接収された戦中の一時期などを除き、明治末から昭和の中頃まで主に図書館として使われた。文芸評論家末原直彦さんによると島本健作、和田芳恵、八木義徳ら多くの道内出身作家が、青春時代をここで書物と向き合った▼芥川賞作家となった八木は、追憶の小説「旅の音色」の中で、時計台で初めて「文学」の存在を知ったと書く。

読書に夢中になり(頭の真上で、この鐘がかアーンかアーンと澄んだ古雅な時を告げると)、はじめて本から目を離したという▼昔は一里(約四キロ)以上離れていても聞こえたぞつだ。空は広く、札幌は時計台の鐘下の街だった。いつしかビルに囲まれて、その響きも台、書いていて気づく▼時計台の書字向かいにある北海道新聞の社屋も音を遮っている当事者だ。何とも身の細さ思いつく。原稿を書く手を止め目を澄ませます。「かアーン、かアーン」。ビル街の騒音を突いて「古雅な時」が聞こえてきた▼電気に頼らずに人力で重畳を巻き上げ、地球の重力と人の汗が奏で続ける音。この夏、このほかに染みる。 2011・8・12

役員改選・定款の見直し

平成二十三年度は役員改選の期でした。年初の理事会において役員改選が行われ、永年にわたり会の発展に多大なるご尽力をいただきました吉田安顧問、小島博重理事、島田無響理事、松村耕一理事をはじめとする六名の役員の退任が報告されました。退任されました役員各位に心より御礼を申し上げます。

併せて新役員候補の推薦があり、以下の方々が承認されました。会にとって大きな支えになるものと有難く、心強く思うところです。

新顧問として元NTT社長で現NTT顧問の児島仁氏と元北海道大学総長で現北海道総合研究機構理事長・北海道大学名誉教授の丹保憲仁氏の二名の方にご就任いただきました。

また、新しく理事として元時計台館長の関堂安司氏、元北海道庁商工労働観光部主幹の武田清克氏、株式会社さきのとや代表取締役の長沼昭夫氏の三氏が選出されました。

また、定款の見直し改正に伴い、今後役員は総会で選出することとなりました。

新理事の就任挨拶

時計台の鐘の音の高さ

関堂 安司

札幌市時計台が平成十年十月一日にリニューアルオープンし、その時館長として、お手伝いをさせていただきました。札幌のシンボルの時計台にいくらかでもかわったことは、今でも私の誇りと思っていると同時に、館長に就任していた期間に、事故がなかったことに安堵しています。

時計台に勤め始めて驚いたのは、パンフレットなどにも紹介されていましたが時計台の鐘の音の

高さがドレミファのラであるといわれていたことです。私は音楽気遣いで、楽器もいくつか見よう見まねで使うので、ラの音には敏感です。念のため音の高さがデジタルで測定できるチューナーで測ってみました。また絶対音感のある人にも聴いてもらいました。ピアノの調律師の持っているチューナーで測ると、時計台の鐘は実にいろいろな高さの音を出していて、それらが合成されたものを私たちが聴いていることも分かりました。また時計台の玄関ポーチ下では一つの鐘の音がカン・カンとダブって聞こえます。

私としては「レのシャープ」として間違いがないと思います。反響音は聴く場所によっても若干違いますが、ファの高さが一番強く感じました。興味のある方は時計台の周囲にある建物の近くとか、時計台のポーチなどで聴き比べてはどうでしょうか。

夢のカウント・ダウン

武田 清克

百三十年の歳月を重ねる札幌時計台の時鐘の澄鳴な音色は、札幌市民は基より万民認めるるところです。

話は変わりますが、行く年、来る年を祝う行事として、日本では百八つの鐘で煩惱を払い新しい年の幸せを祈り、外国でも広場に大勢の市民が集まり、午前〇時に向けて花火や楽隊、群舞等さまざまな行事で、一斉にカウント・ダウンを叫び新年を祝うと聞いてます。

ここで、札幌時計台の話に戻ります。毎年、十二月三十一日午後の十二点鐘から一月一日の一点鐘の間、時計台周辺を交通遮断し歩行者天国として市民が集い、時計台の鐘を愛でながら、

この鐘に縁のある歌を合唱し、新年を迎えるカウント・ダウンによって行く年来る年を祝うような行事ができればと思います、夢のような思い付きですが新米理事のご挨拶にかえさせていただきます。

ごあいさつ

長沼 昭夫

この度、理事に選出され就任致しました。「株式会社さきのとや」の長沼昭夫と申します。力不足ですが何卒よろしくお願い致します。

札幌に生まれ、札幌で育った小生には「時計台」の忘れられない思い出があります。私が札幌西高校に通っていた昭和四十年頃、時計台は図書館になっていました。ほとんど自宅で勉強する事になった私もたまには時計台の図書館に通い勉強した気になっていた事を思い出します。その後、国の重要文化財に指定され多くの市民や観光客に愛され、札幌の街には無くてはならないシンボルとして現在に至っています。札幌をこよなく愛する札幌市民の一人として、時計台を守り、札幌の文化を育てるお手伝いが出来れば幸いです。

また私共の会社「きのとや」で六年前より製造販売している「ミルククッキー札幌農学校」の商品名が、時計台の由来、北海道大学の前身札幌農学校から使わせて頂いている事にこの場を借りて心より感謝申し上げます。

平成23年度 役員名簿

顧問	児島仁	憲仁
会長	丹保直彦	美代
副会長	木原千代	征輝
理事	坂谷田	健次
	池田	寛隆
	大槻	克彦
	小笹	英子
	関川	安司
	高山	千鶴
	武田	清昭
	長原	良夫
	前川	公美
	沓谷	小紀
	太田	忠而
監事		
事務局		

平成23年度 会の主な活動

- 3月18日 時計台まつり記念行事の出演団体決定・連絡
- 4月19日 時計台まつり実行委員の委嘱依頼
- 23日 会計監査
- 27日 「広報さっぽろ」6月号原稿依頼
- 28日 時計台まつり実行委員会
- 5月5日 総会・理事会開催案内
- 10日 札幌市へ記念行事負担金交付申請 道新、梅津奨学院、北電へ、その後順次申請
- 札幌市、NHK等へ名義後援、協賛、特別賞出賞の依頼
- 小学校長会等関係各所へ後援申請
- 14日 前事務局長本間昭治郎氏ご逝去
- 17日 北海道新聞社へ時計台まつり記念演奏会の広報依頼
- 18日 第1回理事会（総会議案審議・役員改選）
- 28日 通常総会（活動・決算報告、活動計画・予算審議）
- 28日 「広報さっぽろ」7月号原稿依頼
- 6月4日 道新社告に記念行事年間計画掲載
- 7日 会員への総会報告・会費納入案内
- 8日 演奏会プログラム印刷発注
- 10日 消防署へ催物開催届提出
- 15日 法人登記（法務局）
- 17日 児童絵画展、文芸作品コンクールの審査委員 委嘱依頼
- 18日 児童絵画作品募集案内依頼
- 28日 第1回時計台まつり記念演奏会 Love Voice ゴスペルコーラス
- 7月8日 区役所、区民センター他へ文芸作品募集のチラシ配布、掲示依頼
- 9日 労働保険申請
- 14日 道新社告 児童絵画、文芸作品募集記事掲載
- 29日 第2回時計台まつり記念 札幌放送合唱団OB会合唱団 合唱の夕べ
- 8月1日 市民文芸作品コンクール作品受付開始
- 5日 FMコミュニティ番組出演
- 26日 第3回時計台まつり記念演奏会 オカリナ1.4ファミリー 北の大地にオカリナの調べ
- 30日 文芸作品審査依頼
- 9月1日 児童絵画展作品受付開始
- 21日 児童絵画作品審査会
- 23日 道新に市民文芸作品コンクール入賞者発表
- 28日 第4回時計台まつり記念演奏会 時計台のある街プロジェクト アコースティックライブ
- 10月7日 道新に児童絵画展入賞者発表
- 10~16日 児童絵画・市民文芸優秀作品展
- 16日 時計台創建133周年記念式典・優秀者表彰式 記念演奏会 Dipa String Quartet 弦楽四重奏
- 26日 後援・協賛事業終了報告とお礼
- 11月5日 時計台まつり記念行事会計監査
- 22日 第2回時計台まつり実行委員会
- 25日 改正定款道の認可
- 26日 次年度時計台ホール使用申請
- 12月1日 時計台まつり記念行事出演者の公募 「広報さっぽろ」に掲載
- 2日 定款登記（北海道庁）
- 7日 第2回理事会
- 2月1日 会報76号発行予定
- 3月上旬 H24時計台まつり記念行事出演者決定予定

森田たまー時計台寸描④

木原直彦

丸井今井デパートの大通公園に面した場所に道産子作家第一号の武林無想庵生誕碑が建っているが、近くの南一条東四丁目には女性作家第一号の森田たま生誕碑がある。彼女はその地で明治二十七年（一八九四）に裕福な運送業の家に生まれたが、ここから札幌グランドホテルの位置にあった札幌女子小学校に通い、さらに立札幌高等女学校（北二西十一）で学んだ。その頃の札幌の人口は三十万人に足らずで、石川啄木が「大なる田舎町」と言ったように牧歌的な風景を醸していたろう。家を出て創成川にかかる創成橋を渡ると、北海道の迎賓館にあたる豊平館（現・市民ホールの位置）が目に入る。随筆家として一家を成した彼女は随筆「豊平館」のなかに書く。その「丸屋根は、幼い私

に西洋建築の美しさを教えてくれた最初のものだった」。いまは、国の重要文化財として中島公園に移されている。彼女は、さらに歩を進める。こんどは時計台と出会う。女学校に通うころには現在地に移っており、中退した年には附属図書館として使われていた。吹雪で家々が孤立したとき「私たちを支えてくれたのは時計台の時を告げる鐘の音であった」。札幌っ子の彼女にとって、その「鐘の音が、札幌という町の精神です」ということになる。ちなみに、たまは夏目漱石の弟子である森田草平の門に入ったが、偶然にもそこに名作「松葉杖をつく女」を持つ素木しづがいた。生地は資生館小学校（南四西七）のところである。

事務局だより

- ◆十数年にわたり本会の事務局長として会の発展に多大なご尽力をいただいた本間昭治郎さんが昨年の四月十四日肺ガンによりご逝去された。享年八十三歳。謹んでご冥福をお祈りする。併せて、役員改選でお知らせしたように会発足時よりご活躍をいただいた多くの方が高齢・体調不良等のご事情で退任された。寂しい限りである。
- ◆八月五日FMアップル、三角山、さっぽろ村ラジオの民放FM三社による二十五分間の生放送番組「コミュニティサッポロ」に出演。生放送は初めての経験で大変な緊張。出来はともかく終ってホッ！
- ◆リーマンショック以降毎年のように悪材料が続出し、本会の財務状況も大変なピンチに陥っている。今年度の活動にも影響を与えそうである。